

重点取組分野	令和 元 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
生きてはたらく知	①言語活動の充実を図り、分かる楽しい授業を通して、主体的に学習する意欲を育てます。②算数科を中心に、授業を通して既習事項の定着を図り、思考力や表現力を育てます。③スキルの学習を継続し、漢字の読み書きや計算などの基礎的な力を定着させます。	①②算数の授業を中心に、子どもが考えを表現し、友達の考えを聞くことのできる授業づくりに努めました。③各学年のカリキュラムを継続的に行うことで、基礎的な力がついてきました。④読書タイム、読み聞かせの他にも図書委員会による読書推進活動が行われました。	B
豊かな心	①道徳を人権教育の要とし、授業の充実のため、道徳の授業公開を行います。②「千羽鶴を届ける活動」「いいところみつけ」を実施、継続することで、子どもたちが心を通わせられる雰囲気を作ります。③主体性を育み、自己肯定感を向上させるため異学年集団活動など体験活動を充実させます。	①道徳の教科書が配布され、実態に応じて活用しながら授業を行いました。②③「千羽鶴を届ける活動」は、より子どもたちが自分事として活動できるようにしていきます。「クラスで大切にしたい言葉」を話し合う活動では、子どもたちがより過ごしやすいう学校を目指し取り組みました。	B
健やかな体	①家庭との連携を図り児童が自分自身の健康について考えられるようにします。また、生活習慣の見直しとともに運動に親しむ資質を育てます。②一校一実践運動に「縄跳び」を取り上げ、長縄大会を通して体力の向上に励みます。③栄養教諭と連携しながら食育に関する授業を行います。	①運動の習慣を推進し、体力の向上を図りました。長期休みの際には運動を推進するカードを配布しました。②体育集会では、長縄やマラソンを行い、運動の効果や上達の楽しさを感じる事ができました。③食育教育を通して給食に対する関心も高くなってきています。	B
児童・生徒指導	①児童会指導の1つであるあいさつを目標に取り組み、校内だけでなく校外や家庭でもあいさつができるようにします。②「下郷小学校のやくそく」を全職員で共通理解し、児童が意識して生活できるように支援します。③縦割り活動を充実させ、子ども同士のかかわりが豊かになるように支援します。	①あいさつ週間期間は、あいさつについては少しずつ定着してきました。校外では挨拶ができていない児童とできていない児童がいるので家庭と連携して引き続き取り組みます。②たて割り活動の回数を増やし、子ども同士の関わりがより豊かになるようにしてきました。	B
特別支援教育	①子どもの抱える今日的な課題について校内研修を行い、職員で共通理解を図り、子どものニーズに即ち寄り添って行くようにします。②特別支援教室を活用して、個に応じた学習指導・支援をします。③重点研究会と連携し、授業のユニバーサルデザイン化について理解し、実践していきます。	①様々な児童との関わり方についての研修を受け、連携を密に取りながら一人ひとりの困り感に寄り添うように努めてきました。②ひとクラス週一回、特別支援教育を行い、充実を図りました。また、ユニバーサルデザインについて授業研究を通して考えました。	B
保健管理	①保健指導を月1回実施し、全校で健康づくりに取り組みます。②学校保健委員会を中心に健やかな体、健やかな心の育成ができるよう保護者を含め取り組みます。③保健日より等家庭へ情報を発信したり、保健的な週間を設定したりして、自ら進んで健康づくりを実践します。	①③季節や状況に合わせた保健指導を行い、保健日よりで情報発信しました。②学校保健委員会では「けが0、こみ0、病気0」というテーマで学校全体で健康についての取り組みをしました。また南戸塚小学校と、年三回、学校保健委員会を行いました。	B
a22			
a23			
いじめへの対応	①月1回定期的にいじめ防止委員会を実施し、担当が専任と連携をとりながら、事実や経過の確認を丁寧に行います。②児童がSOSを発信しやすいようにいじめ防止アンケートとったり、いじめの防止研修を行ったりし、些細な変化を見逃さない体制作りをします。	①いじめ防止対策委員会や児童支援専任・関係委員会との連携により、充実した情報交換・支援ができていました。②職員会議時に、専任会などの研修内容を全職員に周知しました。児童アンケートを行い、児童の心の動きを把握するよう努めました。	B
人材育成・組織運営(働き方改革)	①日常的に授業を見せ合うことを通して、授業改善、児童指導双方の実践力を高めていきます。②メンターチームで年間指導計画をたて個々の職員がそれぞれの段階において成長することをめざし、情報交換や意見交換をします。③ミラームを活用したり会議時間の短縮を行ったりして、子どもの育成に関わる時間を確保します。	①重点的に研究している算数の授業の他にも、他教科の授業も見合うことで授業力の向上を目指して努力してきました。②メンターチームの授業を、メンター以外の職員も共に授業を参観しました。③教材の共有化を行いながら時間を確保するように意識しました。	B
ブロック内評価後の気付き	3校で、児童生徒の実態を考えながらよりよい学校の在り方について話し合ってきました。中学校の授業参観や地域懇談会に出席して、中学生と直接接したり、職業体験を受け入れたりしました。南戸塚小学校で授業を行い、観点を決めて話し合い活動を行いました。さらに中学校の先生に6年生の授業をしていただく予定です。		
学校関係者評価	児童はとても元気よく毎日楽しそうに登校していて、よかった。道路の安全確保について、スクールゾーン対策協議会の中での協力をいただいたが、子ども自身の自覚も必要である。地域の施設等に数多く交流をもち、児童と施設の方々とのかかわりができた。これからも進めてほしい。挨拶を地域でもしてくれるがさらに進めていきたい。地域の安全性や活性化にもつながる。		

重点取組分野	令和 2 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
生きてはたらく知	①言語活動の充実を図り、分かる楽しい授業を通して、主体的に学ぶ意欲を育てます。②国語科を中心に、授業を通して思考力や表現力を育て、「豊かな表現」を引き出します。③スキルの学習や読書タイムを継続して行い、基礎的な学力と学習の習慣を定着させます。		
豊かな心	①道徳を人権教育の要とし、授業の充実のため、道徳の授業公開を行います。②「いいところみつけ」を各行事において継続的に実施することで、子どもたちが心を通わせられる雰囲気を作ります。③主体性を育み、自己肯定感を向上させるため異学年集団活動など体験活動を充実させます。		
健やかな体	①家庭との連携を図り児童が自分自身の健康について考えられるようにします。また、生活習慣の見直しとともに運動に親しむ資質を育てます。②一校一実践運動に「縄跳び」を取り上げ、長縄大会を通して体力の向上に励みます。③栄養教諭と連携しながら食育に関する授業を行います。		
児童・生徒指導	①あいさつを目標に取り組み、校内だけでなく校外や家庭でもあいさつができるように働きかけていきます。②「下郷小学校のやくそく」を全職員で共通理解し、児童が意識して生活できるように支援します。③縦割り活動を充実させ、子ども同士のかかわりが豊かになるように支援します。		
特別支援教育	①子どもの抱える今日的な課題について校内研修を行い、職員で共通理解を図り、研鑽を深めます。②特別支援教室を活用し、個に応じた学習指導・支援をします。③必要に応じてスクールカウンセラーや外部機関とも連携を密にし、より良い支援の在り方を考え、実践していきます。		
保健管理	①月一回の保健指導や保健教育を充実させ、全校で健康づくりに取り組みます。②学校保健委員会を中心に健やかな体、健やかな心の育成ができるよう保護者を含め取り組みます。③保健日より等家庭へ情報を発信したり、保健的な週間を設定したりして、自ら進んで健康づくりを実践します。		
b7			
b8			
いじめへの対応	①子ども一人一人との日常からのコミュニケーションを大切に、未然防止に努めます。②月1回定期的にいじめ防止委員会を実施し、事実や経過の確認を丁寧に行います。③児童からいじめ防止アンケートとったり、職員間でいじめの防止研修を行ったりし、些細な変化を見逃さない体制作りをします。		
人材育成・組織運営(働き方改革)	①日常的に授業を見せ合うことを通して、授業改善、児童指導双方の実践力を高めていきます。②メンターチームで年間指導計画をたて個々の職員がそれぞれの段階において成長することをめざし、情報交換や意見交換をします。③ミラームを活用したり会議時間の短縮を行ったりして、子どもの育成に関わる時間を確保します。		
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			

重点取組分野	令和 3 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
生きてはたらく知	c1		
豊かな心	c2		
健やかな体	c3		
児童・生徒指導	c4		
特別支援教育	c5		
保健管理	c6		
c7			
c8			
いじめへの対応	c9		
人材育成・組織運営(働き方改革)	c10		
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			

中期取組目標振り返り	
------------	--

中期取組目標振り返り	
------------	--

中期取組目標振り返り	
------------	--